

キャリアデザ NEWS

鹿児島キャリアデザイン専門学校の情報誌

発行：学校法人 原田学園 鹿児島キャリアデザイン専門学校

〒891-0141 鹿児島県鹿児島市谷山中央2-4173

Tel.099-267-2411 / Fax.099-260-1681

発行責任者：東 祐二 / 制作：新聞係

<https://www.harada-gakuen.ac.jp/career>

2020
autumn



新型コロナに 負けない



前期末試験が終わった後の九月十八日(金)、恒例の「イベント大会」が開かれました。例年は他学科他学年との垣根を超えた、全校学生が一堂に会してのイベントが開かれるのですが、今年は新型コロナウイルスの影響もあり、新しい生活様式の中、各学科各クラス単位での開催となりました。学生自身も教職員も、密を避け、安全安心を模索しながらの開催でしたが、おのの楽しんだようです。

さて、十月一日からいよいよ後期授業がスタートしました。進級学年は、より専門的な授業内容となり、卒業学年は、学生生活の総決算となる時期です。春先から延期されていた資格・検定試験も多く実施される予定です。学校としても最大イベントの一つである、キャリアフェス(学園祭)の開催を検討しなければならぬなど、多くの課題がありますが、コロナ禍でできないことを悲観せず、こんな時勢であるからこそ、学生にとって最も大切なことは何かを問い続けながら、学校運営に取り組んでまいりますので、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※ 写真撮影のため、一部マスクをはずしています。

その(人間力向上)のために「人に促されて行動するのではなく、常に前向きに、自ら率先して行動し、失敗を恐れず、何事にも挑戦してください。」「礼儀をわきまえた元気な挨拶、時間に余裕を持った行動で、コミュニケーション能力を磨いてください。」「我々教職員は、全力で学生諸君を応援します。

このような状況のなか、十月から後期が始まりました。各自の「夢実現」に向け、懸命に且つ意欲的に学業等に取り組んでいることと思います。イベントやサークル活動等は、現在も思うように活動できていない状況ですが、多方面から物事を考え、「ピンチをチャンスに！」精進してください。

はじめ、全員が参加する多くの学校行事は、学級単位で執り行ってきました。また、計画していた多くのイベントも中止となり、感染状況に応じた自宅待機や遠隔授業の措置が執られるなど、日々慌しく展開しています。最近、陽性患者が減少傾向にありますが、今後はインフルエンザ感染にも注意が必要ですが、引き続き、感染予防に留意してください。



学校長 東祐二

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、始業式・入学式をは

在校生、保護者、高校へ
向けてのメッセージ

原田学園 創設の理念
「心の持ち方」を共に学ぶ学園
鹿児島キャリアデザイン専門学校
教育理念

深い人間愛の精神を基調として、人間尊重の理念に基づいて人格の形成を目指し、豊かな人間性と教養を備え、常に進歩し多様化するさまざまな分野のニーズに応えられる有能な人材を育成する。

TV映像音響科



無観客ライブ 「STAYGE」配信！

毎年学生が運営スタッフの手伝いとして参加している音楽イベントが、今年は新型コロナウイルスの影響により軒並み中止の憂き目にあい、実習参加できる場が失われています。そんな中、学生自身が「アーティストたちの発表の場を支援しながらこれからのフェスのあり方を模索しよう」とWALK INN STUDIOの協力のもと、無観客ながらアーティストのライブを配信する「STAYGE（ステージ）」という企画を立ち上げました。ステージを掛けています。鹿児島で活躍する若いアーティストをピックアップし、定期的にYOUTUBEで配信しています。来る十二月にも配信を予定しておりますので、乞うご期待！

ITスペシャリスト科

留学生も頑張っています！



ネパールからの留学生ナウラジ君（二年生）です。なんと、彼は母国で英語の先生をしていたそうです。ITを学ぶために来日しました。

日本の学生と一緒に授業に参加して技術習得に頑張っています。

将来はネットワークやサーバなどに精通するインフラ系のエンジニアとして日本で働きたいという希望を持っています。就職活動も頑張ってください！



IT専攻科 開発風景！

IT専攻科は一年課程の学科です。現在、ITスペシャリスト科を卒業した二名の学生が在籍し、ゲーム会社に提出するためのゲーム開発を中心に取り組んでいます。

開発以外ではITスペシャリスト科一年生のプログラミングサポートや、ゼミ（作品制作）などで中心的な役割を担っています。また、産学連携にも参加し、日々、技術の向上を目的に研鑽を積んでいます。



こども学科



一年生、元気に頑張っています！

令和二年度入学の一年生、三八名は、新型コロナウイルスの影響にも負けず、保育士資格、幼稚園教諭免許取得に向かって頑張っています。座学や実技などのたくさんの科目を学びながら、充実した学校生活を送っています。初めてのオンライン授業も経験しました。今できることを真摯に受け止めて、将来の夢を実現するため、クラスメイトと一緒に前向きにチャレンジしています！



実習、就職活動と自分の力を発揮しています！

卒業学年（二年・三年）の四三名は、教育実習、選択実習を終えました。現場でしか学べない子どものかかわり方や、保育者の仕事内容などを知ることができました。子どもたちと過ごせる幸せを感じることができたようです。そして、いよいよ本格的に就職活動も始まります。自分の力を信じて、目指す保育者像を実現すべく前へ前へ進んでいます。



グラフィック科



作品制作中間発表会およびグループワーク発表会開催！

毎期末に行われる「作品制作」発表会および「グループワーク」発表会が、前期末は九月十六日（水）から十八日（金）までの三日間、開催されました。卒業学年である二年生にとっては、希望する就職先にアピールするためのポートフォリオの制作の中間発表を兼ねていることもあり、大変熱のこもったものとなりました。やれるところはやりきろうと、発表当日の朝まで作業をしていた学生も多くいました。また、発表が思うようにならず、目に涙をためる学生もいました。一年生は後期から「作品制作」、そして二年合同による「グループワーク」の授業がカリキュラムとして組まれていることもあり、先輩の作品に対して質問するなど、熱心に視聴参加できていたと思います。コロナ禍で十分な環境での作業ができていない学生もいる中、自らの世界観を模索しながら作品制作に取り組んでいます。

医療福祉秘書科 / 医療情報管理学科

3年生

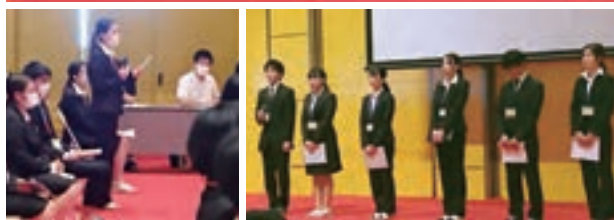
医療情報管理学科
学生セッション校内発表会 2020

令和二年九月二十五日(金)

医療情報管理学科三年生による校内発表会が行われました。

この発表会は「日本診療情報管理学会学術大会」へ出場するため、三年生から二年生に向けて毎年行っているものです。堂々とした発表態度で、講師の先生方からも温かい言葉をいただきました。

今年は新型コロナウイルス感染防止のため、残念ながら学術大会は中止になりましたが、約一年の時間をかけて試行錯誤を繰り返し、発表に至りました。その苦労や達成感は、今後の糧になると思います。



医療系イベント大会

令和二年九月十八日(金)

新型コロナウイルス感染の拡大を避けるため、様々な行事が中止となり、新入生との交流も控えていましたが、感染防止に留意しながら「小運動会」を開催することができました。

大縄跳びやクラス対抗リレーなど久しぶりに汗をかき、たくさんの笑い声と声援に包まれ、とても楽しい時間を過ごすことができました。優勝は「医療福祉秘書科1年生!」おめでとございます。

2年生



日本語科

スパイスでコロナも撃退!?「もぐもぐ料理教室」

新型コロナウイルスの影響で、日本語科の一年生は入国できていない状況が続いています。とても寂しい状況ではありますが、二年生だけで日本語の勉強を頑張っています。

四月から始まったオンライン授業にも慣れてきた四月二十八日には、「もぐもぐ料理教室」と題して、おすすめ料理を作る、説明する、食べる、という授業をオンラインで行いました。ネパール出身の留学生は、持ってきたスパイスを使ってカレーを手作り。画面越しでも美味しさが伝わってきました。



▲インタビューの様子

先輩にオンラインインタビュー

例年「探索プロジェクト」として、桜島や指宿など校外に出かける活動を行っていますが、今年はこれも自粛中……。ということで、今年はテーマを変えて、「初めての〇〇」「先生について」「アルバイトについて」など、留学生生活を振り返り、スライドを作りました。

その中で卒業した先輩方に留学生活についてインタビューを行いました。鹿児島に就職していたり、キャリアデザインスペシャリスト科に進学していたり、いろいろな先輩方がいますが、ベトナムに帰った先輩にもオンラインでインタビューさせてもらうことができました。先輩方、ご協力ありがとうございました!

ビューティ・ウェディング科

ヘアメイクコンテスト
校内選考会・開催☆

LUXE BEAUTY主催「HAIR & MAKE UP PHOTO CONTEST」出展の為の「校内選考会」が行われました。教職員・非常勤講師はもちろん、広く他学科の学生にも投票に参加していただき、上位作品を選出しました。授業中・放課後も一生懸命制作しました。誰の作品が選ばれるのか、とても楽しみです☆結果は本校SNSにて公開!



イベント大会♡

前期の期末考査も終わり、リフレッシュしました。今までなかなか一年生二年生が一緒に交わることが少なかったのに、顔合わせができたことが、とても有意義でした。十月からはコース別・合同授業も開始になります。それぞれの夢実現のために頑張っていきます!



自動車整備科

スポーツカートの授業(写真①)



東京モーターショー(写真②)



▲普段の様子

今年の四月からキャリアデザに仲間入りしました。国家資格である二級自動車整備士取得を目指す学科です。前身は鹿児島情報高校の自動車専攻科で、十二年の歴史があります。

現在、一年生は三十五名が在籍しており、女子学生が二名、留学生が六名います。自動車専攻科の校舎をそのまま引き継ぎ使用しており、一階が実習室、三階が学科教室と自動車整備科だけで三フロアを使っています。

自動車整備科の特徴として、一つはスポーツカートの授業導入(写真①)です。年に数回、サーキット実習があり、実際にカートを乗り回し、車を楽しく学ぶことで理解度の向上を図っています。

もう一つは研修旅行(写真②)です。キャリアデザで自動車整備科だけが実施していて、毎年行きますが、二年に一回は、東京モーターショーを見学します。

楽しいことばかりのようですが、二週間に一回単位修得テストが行われるなど大変な面もあるんです。これからも自動車整備科をよろしく願っています。

『内定者速報』

内定した六名をピックアップ!!

ITスペシャリスト科



「米田 直樹」

鹿児島情報高校マルチメディア科卒
株式会社ソフトウェア開発技術内定

私はソフトウェア開発を通して地元で貢献したいと思い、プログラミングを学びました。当初はわからないことが多かったが、学習を積み重ねることで知識と技術が身に付いていることを実感しました。入社してから困らないよう学業を怠らず、スキル習得に励みたいと思います。

ITスペシャリスト科



「郡 純花」

古仁屋高校・普通科卒
株式会社いえらぶ琉球 内定

私は沖縄への就職を希望しました。コロナ禍の中、就活がとても大変でした。多くの企業を受験し、ようやく自分の就きたい職種の企業に出会い内定をいただきました。十月から内定者インターンが始まるので、より一層頑張りたいと思います。

医療情報管理学科



「塩田 美咲」

明桜館高校・文理科学科卒
鹿児島県厚生農業協同組合連合会鹿児島厚生連病院 内定

私は、「JA鹿児島厚生連病院」に内定をいただきました。内定の連絡をいただいた時の気持ちは忘れられません。驚きと喜び、そして身の引き締まる思いがかけめぐりました。この気持ちを忘れずに信頼される仕事をしたいと思っています。

こども学科



「今村 日向子」

出水中央高校・普通科卒
認定こども園はなぶさ幼稚園 内定

私は、ボランティア活動・教育実習でお世話になった「はなぶさ幼稚園」に内定をいただきました。憧れていた幼稚園に就職できる幸せを噛みしめて、園の先生方のように元気で明るく、全力で子どもたちと一緒に活動できる保育者になれるよう頑張ります。

ビューティ科



「永井 菜」

国分中央高校・生活文化科卒
株式会社ワイス(山形屋ブライダル) 内定

ブライダルに関するお仕事に携わりたく、本校のブライダルコースを専攻しました。幅広いブライダルの知識を学び、新たな目標を見つけることができました。新郎様・新婦様に寄り添い、お衣装やヘアメイクを通して「幸せ」を演出できるように邁進して参ります。

ビューティ科



「大津 朱里」

龍桜高校・モードビジネス科卒
「BOグループ株式会社」内定

目標である上級エステティシャンになるため、本校で学びました。お客様に愛されるエステティシャンを目指し、さらにレベルアップして夢を叶えます。皆さんも、自分なりのこだわりを大切に夢実現に向けて頑張ってください。

コロナ禍の就職活動について



昨年度の卒業生の就職状況は、内定率60.1%と高い就職率でしたが、本年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、昨年度で採用に意欲的だった企業が、採用活動を後らせたり縮小したりするなど厳しい状況が見られます。また昨年度まで全国各地で開催されていた合同企業説明会も中止になるなど、学生が企業の採用情報を得にくい状況も見られるようになりました。すなわち昨年度まで人手不足や緩やかな景気回復を背景にした学生優位の「売り手市場」が崩れつつあるのではないかと、危惧されています。

このような状況の中、キャリアセンタ―では就職活動が困難かつ長期化することを見据えて、いち早く企業と連携し、インターネットを利用した企業説明会や面接試験等を導入するなど、就職活動の動きを止めることがないよう取り組んで参りました。今後も学生の安全を第一に考え、そして安心して就職活動が進められるよう細心の注意を払いながら、学生全員の就職実現まで支援を行って参りたいと考えています。学生には、長期戦を覚悟することともに、粘り強く頑張っていたいだきたいと思っています。

最後に、近年、学生の就職活動を取り巻く状況は、インターンシップによる就業体験、エントリーシートによる書類選考、インターンシップを使った就職活動など大きく変わってきています。そのため進級学年の学生には、就職に有利な資格の取得や自己の長所、魅力を磨くなど人間力を高めたり、早期のインターンシップや説明会にも積極的に参加したりするなど、企業との接点を増やすことが就職実現の第一歩であると考えています。